

会議録

件 名	令和6年度第4回大網白里市子ども・子育て支援推進会議
日 時	令和7年3月13日（木） 14時00分～14時35分
場 所	保健文化センター 3階ホール
会議参加者	別紙名簿のとおり(出席13名、欠席6名 和志委員、山野邊委員、神保委員 鵜澤委員、秋山委員、山崎委員) 事務局 子育て支援課 北田課長、加藤岡副課長、村田主査、見付主事
傍 聴 人	1名
1. 開 会（事務局） 2. 委員長あいさつ （所委員長） 委員の皆様にはお忙しい中、令和6年度第4回の会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。 本日の会議では、議題（1）といたしまして、令和7年度利用定員の設定等について事務局より説明いただき、委員の皆さまのご意見を伺わせていただきます。 議題（2）では、パブリックコメントの結果及び市の回答（案）について事務局より説明いただきます。 議題（3）では、事業計画（素案）の変更箇所を確認していただき、事業計画の最終審議を行い、事業計画についてご承認をいただきたいと思います。 今年度の会議は本日で最後となり、計画策定の大詰めを迎えております。委員の皆様からのご意見、事務局の回答を整理しながら円滑に進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。 3. 議 題 （事務局） それでは議題に入らせていただきます。 議事の進行については、大網白里市子ども・子育て支援推進会議条例第7条第1項の規定により、委員長が議長となりますことから委員長にお願いします。 （所委員長） それでは、議題に入らせていただきます。議題（1）について、事務局より説明願います。 ●議題（1）令和7年度 保育施設の利用定員の設定等について	

〔子育て支援課 村田より資料に沿って説明〕

【資料１ 令和７年度 保育施設の利用定員の設定等について】

(所委員長)

ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら挙手の上、ご発言をお願いします。

(松本委員)

季美の森幼稚園の定員変更について、１号認定を減らした分を２号認定等の定員を広げていただけないか、認定こども園の方針を確認しているのか。

(事務局)

季美の森幼稚園にその旨を確認しておりますが、現時点では２号、３号の定員を増やすことができず、あくまでも実態に合わせて１号の定員を減らすという回答でございました。

(所委員長)

その他、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

ただいま事務局から説明のあった内容で進めることでご異議ございませんでしょうか。

～ 異議なし ～

ありがとうございます。

次に、議題（２）に入らせていただきますが、議題（３）と関連していますので、事務局に議題（２）と議題（３）の説明をいただき、その後に質疑・応答に入らせていただきます。

それでは、議題（２）「パブリックコメントの結果及び市の回答（案）について」と議題（３）「第３期子ども・子育て支援事業計画の決定について」事務局から説明をお願いします。

●議題（２）パブリックコメントの結果及び市の回答（案）について

●議題（３）第３期子ども・子育て支援事業計画の決定について

〔子育て支援課 村田より資料に沿って説明〕

【資料２ パブリックコメント意見募集結果】

【資料３ 第３期大網白里市子ども・子育て支援事業計画（案）の修正箇所について】

(所委員長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら挙手のうえ、ご発言をお願いします。

(松本委員)

資料3の63ページの令和6年度の量の見込みの実績と令和7年度の量の見込みを見ると100人の差があるが、前回の計画では100人の差はなかったのではないかと思います。

数字の予測を立てるときに、国の指定の方法で実施しているというが、独自の計画の数字を持って、予測を立てて欲しいという話を過去にも話をしてきた。

この前もテレビで大網は人気ナンバーセブンの都市だと見たが、移り住んでくる方が多いため、大網の場合は、読めない数字が出てくる。住民票等見てみれば新規で入ってくる方々がどのように増えていくかわかるのではないかと。

そういったところを加味して計画立てていかなければならないというのが、このPDCAを回していくということだと思う。

国が示す通りやっていけば、全題ないという発想は捨てなきゃいけないというのが、こういった実態として表れてきている。

計画を変えてくれというわけではないが、ここから何を学ぶかというところもすごく大切なことだと感じる。

PDCAを回しているというが、実態はこういう回ってないところがあって、これが読み違いに繋がっていることをご認識願いたい。

もう一つは、放課後児童健全育成事業は1年生から3年生までは、今まで受け入れ必須ということでやってこられて、昨年は6年生までを受け入れていた学童保育室が、今年は4年生以上が預かれない小学校が出てきていると聞く。去年できていたことが今年できてない。こういったところに対してどのようにアクションをとっていくということが問われていると思う。そこに対して具体的な計画は計画でいいが、具体的なアクションが何かということを市民の方々にお伝えしないと納得いただけないのではないかと感じるがいかがか。

(事務局)

今回、この計画を取りまとめていただきましたので、この計画に沿うと同時に、現状の学童保育の利用者数は、人口推計だけでは予測できないところがあり、また、学校区によってはその利用率も様々であります。このような実態をよく把握した上で、今後どのように対応していくのか検討していきたいと考えております。

(石原委員)

文言の修正だが、資料2のNo.5について、「広報」と記載があるが、「広報紙」で統一願いたい。それとNo.7について「空き教室」と記載しているが、「余裕教室」に変更願いたい。

(所委員長)

その他、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

それでは、委員の皆さまから、多くのご意見をいただきましたが、議題(2)「パブリックコメントの結果及び市の回答(案)」及び議題(3)「第3期子ども・子育て支援事業計画の決定について」ただいま事務局から説明のあった内容に本日頂いたご意見等を踏まえ、その修正を行った上で決定してよろしいでしょうか。

～ 異議なし ～

委員の皆様、長い間ご協力ありがとうございました。
おかげをもちまして、事業計画が決定しました。事業計画関係の今後の流れについては、事務局から説明をお願いします。

(事務局)〔子育て支援課 北田より説明〕

【資料4 こども誰でも通園制度の実施に関する手引き（素案）抜粋】

今後のスケジュールについてご説明させていただきますが、本日、計画のご承認をいただきましたので、この後、所委員長から市長へ計画完成のご報告を行なっていただきます。

なお、事業計画書につきましては、印刷製本作業が終了次第、委員の皆様や各教育・保育施設等に配布させていただく予定です。

次に、次年度の当推進会議でございますが、2回程度の開催を予定しておりますが、委嘱期間が本年5月末となりますことから、4月早々に準備を進めてまいりますので、その節はご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、次年度の当推進会議では、新たに審議していただく内容がございます。配布資料の4「こども誰でも通園制度の実施に関する手引き（素案）抜粋」をご覧ください。本市では、来年度からこども誰でも通園制度を実施する予定でございます。

このため、次年度において実施事業者の公募を予定しており、応募があった場合には、資料の1番下の赤点で囲った部分に、市町村は事業の認可にあたり、市町村福祉審議会の意見を聴取することとされており、この市町村児童福祉審議会が本市子ども・子育て支援推進会議となりますので、来年度実施事業者を公募し、応募のあった事業者についてご意見をいただくことを予定しております。

私からは以上でございます。

本日は誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(所委員長)

それでは、本日の議題は以上となりますが、その他として、何かご質問・ご意見がございますでしょうか。ないようであれば、進行を事務局にお返しします。

ご協力、ありがとうございました。

4 その他

(事務局)

どうもありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和6年度第4回大網白里市子ども・子育て支援推進会議を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところご出席いただき、またご協議ありがとうございました。

いました。

5 閉 会（事務局）